

HITACHI

高分解能ICP発光分光分析装置PS3500DDIIシリーズ用

前処理自動化システム 接続ユニット

ICP-OES × 自動分注機

ICP-OES (ICP発光分光分析装置) と自動分注機を連動させることで
溶液調製から測定までの一連の分析工程を自動化できます。

PS3500DDIIシリーズ用のソフトウェアに
希釈条件を入力することで前処理を実施します。



前処理作業の手間を削減し、測定者の拘束時間を大幅に低減します。



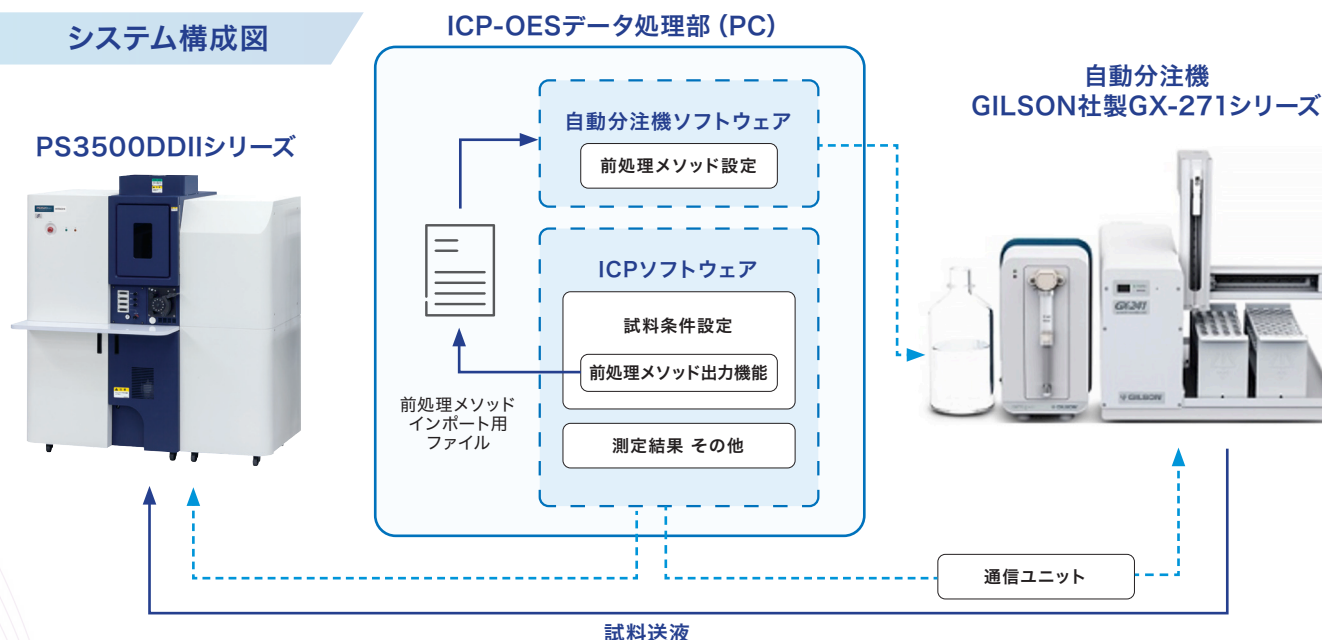
作業者によるばらつきを抑えた高い再現性を実現し、安定した分析品質を確保します。



省人化と業務効率化を同時に実現し、現場の生産性向上に貢献します。



システム構成図



希釈

検量線用標準液の希釈

標準液を事前に指定した希釈倍率に従い希釈

未知試料の希釈

事前に指定した希釈倍率に従い未知試料を希釈



混合

検量線用標準液の調製

複数の標準液を事前に指定した希釈率で混合、標準液を調製



添加

内標準元素の添加 標準液の添加

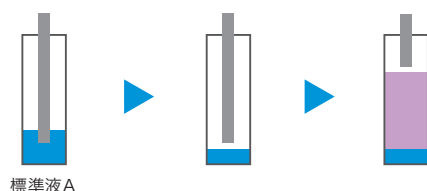
溶液調製時に内標準元素の添加 (内標準法への適用) や標準液の添加 (標準添加法への適用)

前処理自動化システムの動作例

動作例①

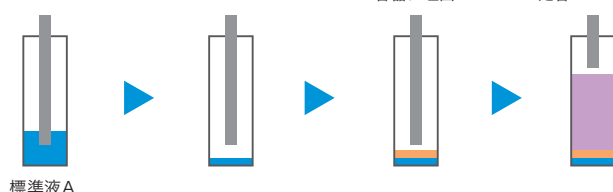
標準液Aを10倍に希釈して調製

- ①標準液Aを分取
- ②分取液を希釈用容器に吐出
- ③希釈液を希釈用容器に吐出し定容



標準液Aと標準液Bを混合し10倍に希釈して調製

- ①標準液Aを分取
- ②分取液を希釈用容器に吐出
- ③④標準液Bを分取し希釈用容器に吐出
- ⑤希釈液を希釈用容器に吐出し定容



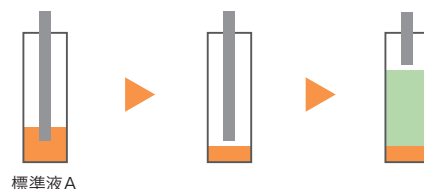
動作例②

試料を1000倍に希釈して調製

2段階希釈により高希釈倍率まで対応可能

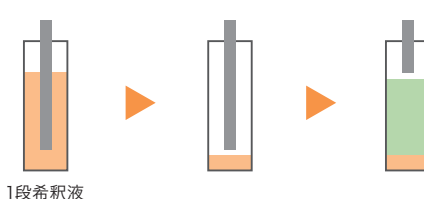
1 段目

- ①試料を分取
- ②分取液を1段目の希釈用容器に吐出
- ③希釈液を1段目の希釈用容器に吐出し定容



2 段目

- ④1段目の希釈用容器から分取
- ⑤2段目の希釈用容器に吐出
- ⑥2段目の希釈用容器に希釈液を吐出し定容



動作環境

項目	内容
シリンジポンプ	デュアルシリンジ 250 μ L, 10mL
ラック	標準溶液用: 50mL用 12本 $\times$ 1個
	サンプル用: 15mL用 44本 $\times$ 4個
希釈倍率	10~400倍/段階 (最大2段階)
吸引許容量	最大1.0mL
洗浄	リザーバー液によるニードル内外洗浄
送液距離	送液チューブ長2300mm以下

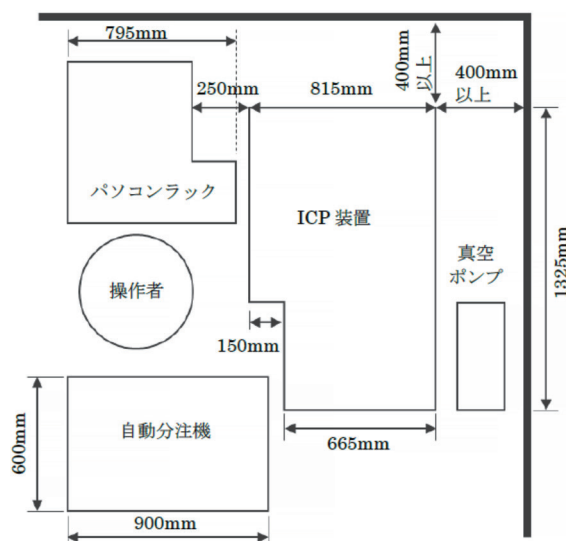
- 安全に関する注意**
 商品に安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず説明書をお読みください。
- ・本カタログに記載のデータは測定例を示すもので、数値の保証をするものではありません。
 - ・このカタログに記載した製品は、改良のため外観または仕様の一部を予告なく変更することがあります。
 - ・本カタログの画面は、はめ込みです。

サイエンスリング



Science for a better tomorrow

このロゴマークは株式会社日立ハイテクの日本およびその他の国における登録商標です。



概略設置(作業域を含む)スペース 2100(W) $\times$ 2200(D) mm

PS3520VDD II、PS3520UVDD II の設置例

株式会社 日立ハイテクアナリシス

本社営業部門	〒105-6411	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー	TEL:(080)1172-7021
中部支店	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦二丁目13番19号 瀧定ビル	TEL:(090)2769-0829
関西支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原三丁目3番31号 上村ニッセイビル	TEL:(090)2769-0647

分析機器に関する各種お問い合わせは:お客様サポートセンタ
 受付時間 9:00~11:50/12:30~17:30(土・日・祝日および弊社休日を除く)

TEL:(0120)513-522

<https://www.hitachi-hightech.com/han/>

*製品の改良に伴い仕様・外観を変更する場合があります。